

# JRAT 活動報告書

平成 30 年 4 月 20 日

都道府県	兵庫県	報告者	氏名 安尾 仁志	
団体名称／ 参加団体	兵庫県 JRAT／兵庫県リハ医会、兵庫県理学療法士会、兵庫県作業療法士会、兵庫県言語聴覚士会、兵庫県介護支援専門員協会 共催 兵庫県リハビリテーション協議会			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の 動き	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会実施	<input type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 30 年 1 月 20 日	実施場所	神戸市教育会館	
概要	<p>兵庫県リハビリテーション協議会が年 1 回開催している兵庫県総合リハビリテーション研究大会に、今年度、兵庫県リハビリテーション医会が主催団体となり兵庫 JRAT キックオフイベントとして大会を開催しました。</p> <p>大会テーマは「災害時リハビリテーション 有事の対応と平時の備え ～過去から学び未来へ繋げる～」で、特別講演として熊本機能病院総合リハビリテーション部の三宮克彦先生をお招きし、「大規模災害時のリハビリテーション支援の課題 ～平成 28 年熊本地震での JRAT の活動を通して～」というテーマでご講演いただきました。次に、シンポジウム「災害時の各団体・専門職の役割について」として、DMAT、兵庫県、障害当事者、兵庫 JRAT 災害リハビリコーディネーター 2 名を含む計 5 名のシンポジストにそれぞれご登壇いただきご発表、総合討議が行なわれました。</p>			
所感	<p>当日は医師、看護師、PT、OT、ST、介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、障害当事者及び家族、行政職と多くの職種、関係機関からの参加があり、多職種で災害リハビリテーションについて考える良い機会となりました。また、災害時支援に関わる機関（DMAT、JMAT、DHEAT、等）のそれぞれの役割について理解することができたとともに、障害当事者目線での災害時の困り事や課題についての話も聞くことができ、参加者全員でこれから兵庫県としてそれぞれが備えるべきことについて前向きな議論が行われました。</p>			
今後の課題	<p>兵庫 JRAT として、兵庫県の災害時の支援チームの一員として活動していく為に、組織化をいち早く進めていく必要がある。</p>			
今後の活動予定	<p>4/15 兵庫 JRAT 主催研修会の開催</p>			

